

「民族共生の象徴となる空間(象徴空間)」における 文化伝承等の活動について (概要)

検討の 経緯

- 「象徴空間基本構想」(平成24年7月)決定後、政策推進作業部会において、象徴空間における文化伝承・人材育成活動及び体験交流活動(以下、文化伝承等の活動という。)の具体的取組内容について検討
- 平成25年6月の同作業部会に、「象徴空間における文化伝承等の活動について」(案)が報告された。

活動の 在り方

文化伝承・人材育成

- 象徴空間の役割
アイヌ文化復興等に関するナショナルセンター
・・・アイヌ文化の継承を確実なものとし、新たなアイヌ文化の創造・発展に繋げていく拠点
- 取組内容
 - ・各種公開講座等の提供等
アイヌ語、舞踊・音楽、工芸、料理、世界観等
 - ・総合伝承者育成事業(仮称)
長期研修により文化伝承の中核的人材を育成
 - ・象徴空間の専門スタッフ(仮称)

体験交流

- 象徴空間の役割
アイヌの歴史、文化等への国民の幅広い理解の促進を図るための拠点
- 取組内容
これまでの(一財)アイヌ民族博物館やイオル再生事業の取組に加え、以下を提供
 - ・伝統的家屋(チセ)。広場、周辺の自然等を活用した古式舞踊の公演・体験、伝統工芸の実演・体験、伝統料理の体験等
 - ・アイヌの世界観、自然観等を子供から大人まで一般の人々が学ぶことができるような体験交流機能

他地域 との 連携

- 各地域の文化伝承等の取組を引き続き(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構の事業等を通じて支援
- 象徴空間において、新たな「学び」「実践」「発表」の機会の提供、各地域への人材派遣、モデル的な取組の実施等により、アイヌ文化の伝承活動等の全体としての底上げを図る。

分野別の取組の方向

【アイヌ語】

- 象徴空間の「公用語」として位置づけ
 - ・象徴空間のアイヌ語名称の公募
 - ・アイヌ語による挨拶言葉を来訪者に推奨
 - ・最初にアイヌ語で場内放送、展示表記 等
- アイヌ語に関する学習・翻訳拠点

【舞踊・音楽】

- 中央広場やホールを活用し日常的に公演
- 古式舞踊・音楽のみならず、現代的な創作についても取り扱う。



【工芸(木彫、刺繍、織物等)】

- 工房や伝統的家屋を活用した伝承活動、体験
- 製作品の展示・販売



【伝統的儀式】

- 調査研究を通じた伝統的儀式の復元
- 可能な範囲での公開



【建築(チセ等)】

- 体験交流活動等の場として活用
- 屋外展示として様々な地域のチセを再現



【伝統的生業(狩猟、漁労、採集)、料理等】

- これまでの取組を継承しつつ更に検討



【自然素材の確保】

- 白老地域のイオル事業の継承・再編

